

第1学年 道徳学習指導案

平成26年6月17日（水）第5校時

1 主題名 規律ある態度 1－（1）

資料名 「父の一言」（出典「彩の国の道徳（中学校）自分をみつめて」埼玉県教育委員会）

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

内容項目1－（1）は「望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。」ことをねらいとしている。

中学生段階では、規律ある生活が自己の成長へとつながっていることに気付く生徒は少ないのではないだろうか。中学校生活の基礎となる中学一年生において、「規律ある生活」と「自己の成長」を関連づけて考える機会をもち、進んで規律を守っていこうとする思考力・判断力を育みたいと考え、本主題を設定した。

規律についての指導は全教育活動を通して行っているが、本時はそれらの指導を踏まえ、自分自身の生活や今後の成長について深く考えさせたい。

(2) 生徒の実態について

本学級は、男女の仲が比較的良く、落ち着いた生活を送っている。「整理整頓ができない」「忘れ物が多い」等、規律ある生活に課題がある生徒もいる。「規律ある生活を送ることが自己の成長につながる」という意識をもち、主体的に規律を守ろうとする意識を高めた。

(3) 資料の活用について

本資料の主人公は、テストで思うような結果が出せないことを家族にこぼす。その話を聞いていた父親が、「靴そろえができないから、テストでもミスをする。」と指摘する。始めは父親の指摘に苛立ちをみせる主人公だったが、父親の一言と部活動の顧問の教師から言われた言葉の結びつきに気付き、考えを改めていく。

主人公が父親にみせた「靴そろえとテストの点は関係ない」という反発は、生徒たちにとって共感しやすい内容だと考える。授業の前半に資料のせりふを引用したロールプレイングを行い、主人公である「私」に感情移入させる。父の一言を聞いた主人公の変容に気付かせ、自らの生活を振り返ることによって、規律ある生活と成長の関わりについて考えさせたい。

3 ねらい

規律ある生活を送ることが自己の成長に関わることを意識させ、望ましい生活習慣を自ら進んで身につけていこうとする道徳的思考力・判断力を育てる。

4 他の教育活動等との関連

事前指導	自分の生活を振り返るアンケート（学級活動等で実施）
総合的な学習の時間	校外学習（6月実施）へ向けた取組。
生徒会活動	あいさつ運動、チャイム着席運動、無言清掃キャンペーン等の取組。
事後指導	道徳の授業で出た意見が分かるような掲示物の作成。

5 学習指導過程

	学習内容と主な発問	予想される生徒の反応	・ 指導上の留意点 ☆ 評価の観点
導入	1 教師の話聞く。		・ 「うっかりミス」をしてしまった体験を端的に話す。
展開	2 条件・状況を知る。		・ 登場人物や状況について、板書を用いてわかりやすく説明する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 登場人物 ・ 私・・・主人公 中学2年 テニス部に入っていた うっかりミスが多い 今は大人 ・ 父・・・職人 「靴をそろえろ」とよく言っていた 今は76歳 ・ テニス部の顧問の先生 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 場面 ・ 大人になった主人公が、中学2年生の頃を思い出している場面が最初に出てくる。 ・ 今 → 中学2年生の頃 → 今 という流れで話が進む。 </div>		
	3 資料（前半）の範読を聞く。		・ 登場人物の心情に共感できるように聞かせる。
	4 「私」と父のやりとりを聞き、そのあと「私」がどんなことを言ったのか考える。ワークシートに、考えたせりふを記入する。		・ 教師が父親役を行い、テンポのよいかけあいをする。 ・ 書く時間はとりすぎないようにする。 ・ 父親の言葉に対して反発する考えが多くなることが予想されるが、幅広く考えを発表させる。
	①父から注意されたとき、「私」はどんなことを言ったのだろうか。	・ うるさいな。 ・ どうせ僕はテストでいい点とれないよ。 ・ ミスしちゃったことを励ましてほしいだけなのに。 ・ テストと靴そろえは関係ないよ。	☆ 「私」への感情移入ができてきているか。
	5 ワークシートに書いたせりふを「私」になりきって発表する。		

- 6 資料(後半)の範読を聞く。
- ・「私」の気持ちが書かれているところに線を引く。
 - ・近くの人とどこに線を引いたか確認し合う。

7 主人公「私」の心情を中心に話し合う。

②父から『靴そろえなんか』と言ったな、でもおまえはその『なんか』すらできてないじゃないか。」と言われたときの「私」は、どのような気持ちになったのだろうか。

(補助発問)

②「父の一言とテニス部顧問の先生の話はどのようなところが似ているのか。

③『外相整って、内相自ずから熟す』という言葉から、「私」はどんな影響を受けたと思うか。

- ・靴そろえができなくて問題ないよ。
- ・テストと何の関係があるんだ。
- ・父の言うとおりかもしれないな。
- ・そういえば同じようなことを言われたことがあるな。
- ・二人の話が似ているから。
- ・同じように注意されたから。
- ・身の回りのことがしっかりできれば、その他のことも良くできるようになる。
- ・靴をそろえるようになった。
- ・父の生き様だと感じるようになった。
- ・身の回りを整えると人間としての中身もしっかりしてくることに気付いた。

- ・線引きばかりにとらわれないようにする。
- ・場面が過去から現在へ変わる箇所がわかりやすいように読む。
- ・体の向きを変え、前後左右で確認させる。
- ・指名の仕方を工夫する。
- ・教師の発問をきっかけに、生徒が互いの意見を交換できるよう促していく。
- ☆ 主人公の気持ちを深く考え、理解しようとしているか。
- ☆ 自分の意見を人に伝えようとしているか。
- ☆ 他者の意見に耳をかたむけているか。
- ・「靴そろえ」と「テストの出来」の関係⇔「あいさつや服装」と「テニスの上達」の関係が似ていることに気付いた主人公の気持ちを掘り下げる。
- ・生徒の様子を見ながら、意見が出しやすくなるよう支援する。
- ・机間をまわって生徒の様子を観察し、数名に発表させる。

	8 この資料から学び、これから活かしていこうと思うことを簡単にまとめる。		☆ 規律ある生活が自己の成長につながっていることを意識した内容になっているか。
終末	9 他の生徒の考えを聞く。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 聞く姿勢に目を配る。 ・ 状況に応じて、生徒がまとめたものを読みあげる。

6 評価の観点

- ・ 主人公の気持ちについて深く考え、自分の言葉で表現することができたか。(発言・観察)
- ・ 他者の話に耳を傾け、自分の考えを深めることができたか。(観察)
- ・ 主人公の変容に気づき、これからの自分の生き方につなげていこうと考えられたか。

(発言・観察) (ワークシート)

7 板書計画

<p>父の一言</p> <p>私</p> <p>父親 職人</p> <p>中学二年・テニス部</p> <p>テニス部の顧問の先生</p>	<p>①父から注意されたとき、「私」はどんなことを言っただろうか。</p>	<p>②父から『靴そろえなんか』と言ったな、でもおまえはその『なんか』すらできてないじゃないか。」と言われたときの「私」は、どのような気持ちになったのだろうか。</p>	<p>③『外相整って、内相自ずから熟す』という言葉から、「私」はどんな影響を受けたと思うか。</p>
<p>(生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 父の生き様だと感じるようになった。 ・ 靴揃えをするようになった。 ・ 身のまわりを整えることが人間としての成長になると気づいた。 	<p>(生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 靴そろえができなくても問題ない。 ・ 父の言うとおりかもな。 ・ 同じようなことを言われたな。↓顧問の先生の話へ 	<p>(生徒の反応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ うるさいな。 ・ テストと靴そろえは関係ないじゃないか。 	

8 資料分析表

①資料名 「父の一言」(出典「彩の国の道徳」中学校『自分をみつめて』埼玉県教育委員会)

②条件・状況

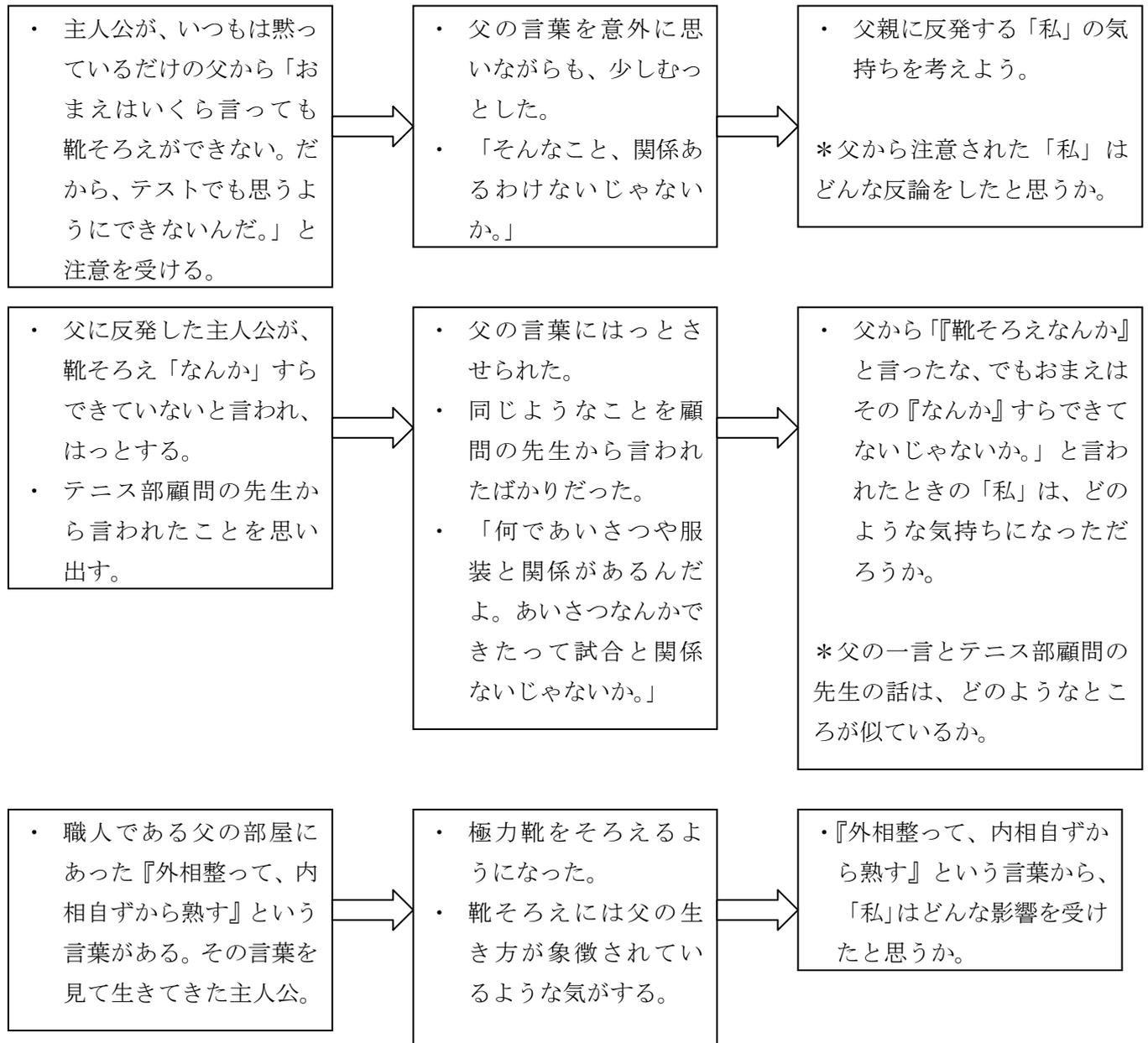
主人公	私(名前は高橋)
登場するもの	私の父(職人)、テニス部の顧問の先生
条件・状況	大人になった主人公が中学2年生の頃を回想している。中学2年生のある日、父からテストの点数が良くないのは「靴そろえ」ができないからだと言われる。

③支援の流れ

《話題につなげたい場面》

《キーワード・主人公の心情》

《話し合いの柱》



④ねらいとする人間像 内容項目1-(1) 規律ある態度

望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。